

バストス週報

第1536号
昭和五十一年
十月十八日
月曜日発行
Diretor
Kōiti Mori
Redator
Shōho
Miyatake
Rua, 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone: 340
BASTOS
E. S. P.
Anual
Cr. # 85.00
Adiant.
前金

潮騒 43

熱狂サッカー野郎

日本の人々にブラジル紹介 (2)

ある日旺日にリオのマラカンでサッカー(フットボール)見物につれて行ってもらった話。サッカーのメッカといわれるカリオカの誇る名所の一つであるが、なる程設備は近代的で、収容人員二十万人、後楽の三倍はあると思われるほど規模が大きい。

○ 猛烈な地域の対抗意識

試合はヘフラメンコと「バスコ、ダ、ガマ」の幕が切って落されようとしているところだったが、観客はもう大騒ぎで、ひいきの旗をふる者、叫びが、サンバを踊り出す者、クイック(太鼓)やダンス、サンバを打ちつづけ、アコゴ(打楽器)をたたき、サンバを唄い、あちろころろで浮かれ狂っている。観客は試合の進行につれて、しだいに興奮し、隣の友人などは、とび上ってチームを声援している。陽気なブラジル人ではあるが、このスポーツがブラジル人をして、このように熱狂させる秘密は、どこにあるのだろうか。

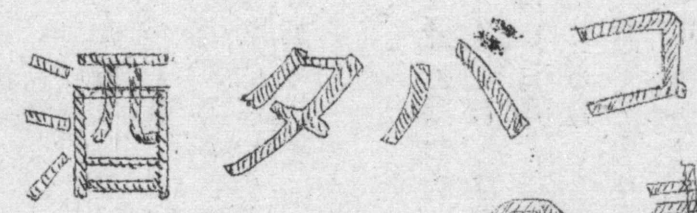
ブラジルは欧州のメンタリテイを引継いで個人主義が非常に強い。全村は会社、個人は個人と云うわけだ。だが、ひとたび仲間意識がわき、共通の利害、共通の目的が与えられると、わき目もふらず組織力を発揮する国民である。

フットボールほど組織力と個人の役割が有機的に結びついたスポーツはない。どっかかうまく動作しなければ、負けてしまうからだ。個人主義が発揮され、尚且つ組織力の必要なフットボールこそ、ブラジル精神風土にうまくマッチしたスポーツと言えよう。ブラジル人が抗意敵は相当なものだ。江戸っ子と浪花っ子が張り合う以上に、カリオカとパウリスタ・ミネーロは競を競う。パウリスタが「お前は遊び人」といえば、カリオカは「何ッくそ、働き蜂」と切り返すほどだ。

これがそのままフットボールに持ち込まれ、リオとサンパウロのチームが対戦しようものなら、それこそ大変。地元競技場につめかけた地元ファンが相手チームを罵倒するのは朝飯前のことで、観客同志のケンカまでしばしば起きる。試合があると必ず警察官が、大豊に配置されるのも、不測の事態に備えることだ。

もう一つ見逃がせないのが政府のスポーツ政策。ブラジルには世界のはとんどの人種が入り込み、人種のルツボといわれる多民族国家、人種によって、風俗習慣も異なり、話す言葉も多種多様のもので、これをそのまま放置しておけば、国家としての体制が成

WAKAMOTO UAKA

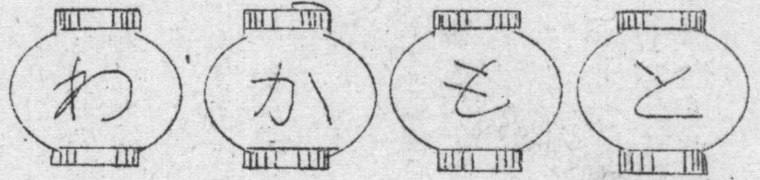


BRILHANTINA VEGETAL

わかポアード

すばらしい髪 高級植物性

DESINTOXICANTE
ENZIMAS + COMPLEXO B + MINERAIS



FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.

Rua Duque de Caxias 524-F, C. Post. 171, Fone. 29

森元苗木本舗

電話 二九番

国民を一つにまとめる

ブラジルの指導者の悩みも実はここにあるわけだ。テレビ、ラジオで外国語放送を禁止して、ポルトガル語一本にしている理由もそこにある。多民族の国民を融合して、一つの近代化国家に統合するには、国民に共通の土俵を築くことが、どうしても必要となる。その点フットボールは異人種が共通の団結力という利点があり、加えて国民のレクリ

リ立たなくなってもまう。

2
エシヨンと政治効果の一百二鳥が果せる材料ともなる。スホーツは政治運籌の一手段という見方をすれば、ブラジルのフツチボールこそ、その典型とも云えよう。

賭博が禁止されているブラジルだが、競馬も、宝くじ、ロテリア、エスボルチーバという公益賭博は認められている。賭け金が最低三クルペーロまで、毎週行われる。フツチボール十三試合の勝負の結果を予想するのがこのロテリア、エスボルチーバ。つい先だって、ゴイヤス州のある労働者が一人を全部あてて数億円の賞金をせしめ、新聞で大さわぎとなった。

毎週これに挑戦する国民が非常に多く、「あつたか」ときくと、「次回にあたるだろう」と云いながら、新しい予想に熱中している。フツチボールをめぐると、世界に類のない日本、ブラジル両国の友人を熱中させる一因があるのだろう。

揺ぎなき相互信頼

駐日ブラジル大使

エルオマデナルゴス、カバル氏のメッセージ

ブラジル大統領として、はじめて日本の土をふむカイゼル大統領の訪日にあたり、一九〇八年の移民にはじまり、今日海外で最大の日本人社会を形成するに至った。世界に類のない日本、ブラジル両国の友好関係の基礎について述べたいと思います。

両国の関係は三つの基本的要因に基づいています。相互の信頼、両国経済の相互補完性、ブラジルの市場のもつ潜在勢力がそれです。

第一に挙げられる要因は、日本人のブラジルに対する信頼です。それはわが国が平和と繁栄を実現させるにふさわしいところとして、わが国を選んでくれた日本人及び他の諸国民を心を開いて辛直に歓迎したことの結果です。ブラジル社会は日本人に安全と幸福と人間的温かさという「環境」を提供し、祖国に在るような気分にさせたのです。また、こうしたブラジル人の自発的な心は日本人に対して、わが国が常に感じていた信用と賞賛と尊敬の念から、はくくまれたことも明らかなです。

この相互信頼は、安定と社会秩序を確立し、経済勢力のカイドラインと行政の効率に於いて合理性と一貫性を維持しようというブラジル政府の確固たる方針のもので、経済的争野にも広がってきました。加うるに、外貨に対して例外的ともいえる自由化と安全性の保証のあることが日本をして、米国につきインドネシア、英国と並ぶ多額の投資をブラジルに行わしめるものになったのです。

第二の要因は、両国経済の相互補完性です。そしてこれに近年の両国経済発展と、両国間に横わる売服とによって大きく発展しました。距離的遠く、地理的にも不利におかれた運賃問題はその一つですが、この障害は海上輸送技術の発達によって克服され、ブラジルは日本に対する他の供給国と運賃面で競争できるようになりました。日本に対する原料、食糧の供給国たる他国がブラジルとの間の天然資源の

病院よりお知らせ

皆さん御待望の

眼科専門医の



先生をお迎えして眼科開設致し

ました。診療日は十月二十二日と

十一月五日の各金曜日午後一時より

海野勲先生

治療の外、眼鏡の度を調べたり、

眼科の手術もいたします

御利用ください

AVISO de HOSPITAL de BASTOS
バストス病院
各位

ギヤップも問題でしたが、これもブラジル政府の組織だった開発計画によって克服されつつあります。これには日本資本の支援があったのですが、こうした日本の支援は近い将来、原材料食糧に対する日本の必要性が増すことによってふえることが期待されます。

豊富な資源と相対的に安い電力、労力を有するわが国と、すぐれた技術を有しながら、資源や土地に恵まれない日本とは、双方の利益のためにより高度の一体化に進むことができよう。

最後の、そして同じく重要な要因は、ブラジルの市場のもつ潜在的成長です。わが国のGNPは、千億ドルと、世界第七位で、健全なる消費傾向と未充足の大きな需要をかかえています。

これだけでも日本の資本を引きつけるに充分ですが、さらに過去、年率一〇%の成長を続け、ダイナミックな輸出を行って来たことをつけ加えなくてはなりません。こうした条件は、もちろん、資本財への強い需要とブラジル市場の、より一層の潜在成長力とを提供します。

カイゼル大統領の訪日は、こうした両国の密接な理解が完全なものになったことを意味します。大統領の滞日は両国関係の強化が何よりも必要であることとの証左となり、永続する友好関係に新時代を開くことにならうでしょう。(終り)

見守るキリスト像 (リオ)

観光ブラジルの空の玄関で、ホテルの建設も急ピ

ッチで進み、世界的な観光都市である。リオといえ
ば、カーニバルだが、見どころはその外いろいろあ
る。標高七一〇メートルの岩山に立ッキリスト像の
コルコヴァードの丘、三九〇メートルの花崗岩山の
ポンデ・アルカル、椰子の種類の多きでは世界的な
シャルシオン、ボタニコ(植物園)美女とタンガ(水
着)のコバカバーナ海岸は中々有名だ。

道頓堀はコバカバーナも俗化したのでイパネマ海岸
からさらに遠い、ひなびた海岸に人気が出ている。
リオの夜景、サンバ、ショウも見逃がせない。サ
ッカ狂にはマラカナン競技場(二十万人収容)があ
り、プロのサッカー試合が息物でさる。

十五万人超す日系人(サンパウロ)

中南米最大の商工業都市。日本人、日系人が最も
集中しているところで、市内だけで十五万人以上の
日系人がいるという。

日本人街へ行けば、日本語の看板をかかげた商店
、料理店が集中し、日本語が通じる。

観光資源は乏しく、ブタンタン毒蛇研究所、イビ
ランガ公園(博物館、バンテイランテス記念像)プ
ラッソ、レプフリカ露天市、セアルサ青物市場など
がおもな名所、むしろ郊外に出るワインの町、刺し
ゅうの町、地酒の町などをドライブした方がよそ
う。

翼のよつな町並 (ブラジリア)

ブラジルの内陸高原にある首都。飛行の翼に似た
町並となっており、中心の三権広場(行政、立法、
司法の三権独力)がある。

両町に並ぶ官庁ビルの中でひととき美観を見せ
ているのがイタマラテイ(外務省)。 おわり
以上は日本経済新聞より転載。

糸 音

帰国の船

10

故輪潮俊 午郎氏著

そこで、此の鹿兒島県の青年は富籤(オウシキ)を買ったこと
にした。十年間に一度当ればそれでよいのだ。青年は
毎月の六十ミル也を節約して怠らず買ひ続けた。而
も富籤を取扱つ澤山代理店の一つを選び、決して他
で買つようなことをせず、両の日も風の日はこれだ
けは忘れずに三年通いつづけた。

或る夜青年は富籤の札と番号を、はつきりと夢に
見た。不思議なこともあるものと、翌日注意して見
ると、正にその数字に相違ない札があったので、そ
れを買った。何と幸運にも当って一万円になった。

一万円は当時倍償にして二十コントス定らずであ
ったが、此の金を銀行から受取るには保証人が要る
ので藝商商店の熊坂という人に頼んだ。熊坂の請に
よると、此の青年は銀行から渡された札束を一枚一
枚勘定し初めたが、五、六十枚勘定すると何んだか
読み違ひをしたような気がすると思え、又最初から
勘定した、こんなことを三、四回繰り返している中
に、ポーツと顔が赤くなり、気が変になつてしま
つた。気遠いというほどでもないが、どうかすると、

フイルフィルに就いて御通知

今回新法令により、最近五カ年分のノ
ツタ、プロゾツトールの明細書を提出
して申請しなければならなくなりました。
五年前からといえれば長い月日のため、
ノツタ紛失の場合もありますので、な
るべく早く当事務所へ、お手許にある
最近のノツタ持参の上御いで下さるよ
う御通知申し上げます。

この申請は義務であり、これにより発
行される証明書を受取つて置かないと
、銀行融資とか、土地売買などの場合
非常に困難となるばかりでなく、罰金
刑を課せられることとなります。
○期限は十月三十一日となつて居ります。
一九七六年九月二十八日

プレゼンテ ヴァルガス街 一八九番地

石川法律会計事務所

C.P. 一〇三番
電話 一〇五番
一〇八番

農村恩給について

今年のはじめに法令化した農村恩給は、法令詳細
通知が遅れていましたので、一時中止状態になつて
居りましたが、去る五月初日に詳細が発表されました。
この法令詳細にもとづき、今年のはじめに当事務所
から御通知致しました通り、タッシマ(コントリブ
イソン)を納めなければなりません。

最高金額を納めるようになっていた金額は、同金
額を納めるのですが、これ以下納める方は、今回の
詳細では、多少の差額がありますので、御承知下さ
い。尚、今年のはじめに当事務所で受付けてありま
した方々からは、手数料は戴きません。

期限は十月二十九日となっておりますので、期限
前にタッシマ(納入金)持参の上、本人が当事務所
までおいで下さるよう御通知申し上げます。

尚、最高額のタッシマ以下の方で、当事務所へタ
ッシマを預けられたままになって居られる人も、法
令詳細による差額がありますので、御多忙中恐縮で
すが、是非とも、本人がおいで下さるよう御通知申
し上げます。

一九七六年 九月二十八日

プレゼンテ ヴァルガス街 一八九番地

石川法律会計事務所

Dr. 石川 雅 宏
郵函 一〇三番
電話 一〇五番
一〇八番

「何にも辛抱です」と独言。此の「何にも辛抱です」は青年の三年間買ひ続けた富家屋の主人が、「お前もとうとう買ひ当てたか。何にも辛抱だ」と、感嘆して喜んでくれたさうで、その言葉が青年の脳裡に深く刻みつけられ、この「何にも辛抱です」が時ならず口と突いて出るのであった。青年は英国金貨でその一万円を持っていて、密航船客の寝静まった頃、船中に抜け出してはニコくししながら勘定して見るのであった。非常に善良な青年で、救助移民の子供らへも船の酒舗から何か買ってきては喜ばせろのであった。大人たちもカド遊びの終りには、定ったように青年は奮るのであった。

斯うしたこと位は成功者の当然の義務だと心得てゐるかに見えたが、一番気づかされたのは、時々一人甲板に立ち「若し僕が富家を買わなかったとしたらば、到底成功はしなかったであらう。若しブラシルに富家がなかったとしたら、僕は一生日本へは帰れなかつたかも知れぬ。ブラシルは有難い所だ、ウム、何にも辛抱だ」と熱狂してくることであった。も、と海でも着くな。たらと皆心配したのであった。

帰国の船 (二)

他の二人の小原と云うは、岩崎の令弟に生れ、既に五十過ぎの胡麻頭であった。小原は性来の放蕩兒とは思われなかつたが、幸か不幸か名門に生れた爲めに、聊かの事にも家名を連累され、而も相続人たる実兄と彼との間には、相当の差別があつた。らしく、そんなことをして小原を次第に反抗心をつのうせ、遂に一段と放蕩に身を持ち崩すようになったのであった。家名にかかわるというので、小原島から、南洋、西比利亞等、此の年に到るまで流刑に遣つたが、機会があればうまいことを口実として帰つて来こしきうので、男爵家もホトホト困惑したらしい。小原の次の弟は非常な家名思いで、この兄の恥さらしを嘆き、或時三室に白鞘の短刀を突きつけて自刃を迫つたが、小原は死んでたまるかと思へ出したさうである。偶々ブラシルがよかろうと男爵家では移民会社に若干の金を托し、小原を移民船で横浜から送り出した。船まで見送つた家令が、「今度は辛抱をしないよ」と云うた。

「何、その内に又帰つてくる。島ははなア、船の無い所ぢなけりや駄目だよ。戻つたら兒へ云え、行く船のある所には、帰る船もあると」と、小原は皮肉を以つて別れたのであった。

サンパウロではフロック姿で遊女屋へ乗り込んだり、假中時計を掏られたりして、身につくものが全くなくなるまで遊んでいた。移民会社も困つてしまひ、やつと騙して田舎へやることにし、ウンと苦しめてやろうと、耕地の監督へも云い含めておいたが、小原もさる者である。時々心臓をおさえて監督に「私は南洋でも心臓麻痺を起して駄目かと思つた事か再度ありました」と顔をしかめていう。監督にしてみれば、何んばなんでも時めく男爵を兄に持つ小原を苦しめて、心臓麻痺を起さされては大恋なので、待遇をして遊ばせておいたのだが、監督も遂にたまらなくなり、旅費を与えてサンパウロへ追い帰した。何処へやつても戻つて来るので、移民会社も閉

おしらせ

明老演芸会

- 一 来る十月十七日(日)夜七時半
- 一 バストス 総合会館
- 一 のどじまん・おどり・音楽
- 一 一般席は中頃よりうしろ
- 一 一般のお方もこ来席できます

主催 バストス明老会 後援 バストス文化協会

御礼

右は御令聞故 梶田静枝様御不幸の際当寺へ御進納、有難く御礼申上げます

梶田 実様
バストス南米本願寺

口し、結局、もと来た所へ帰つて貰うより仕方なかつたのである。

小原は決して悪質な人間ではなかつた。只家がお金持ちの華族であるところ、背景を利用し、金を儲け歩いては、その金で飲んだり食ったりするの、家名にかかわる唯一最大のものであった。然し小原は一面非常に人情深い男で、気の毒だと思つた人へは、折角飲むために借りて来た金でも惜げもなく施すことが間々あつた。せめて彼の悪い癖と云う可きは、或る生理的缺陷から来ているのかも知れぬが、酔つた夜は必ず寝小便をやる事である。それに華族だと言つてプライドも手伝わして時々不遜な態度をするが、酔つての事ではあり、憎めないと言つておもしろ滑稽なことさえ多かつた。

船室に於ける小原の寝台は上段で、下には救助移民の後家さんと、その子供が寝ていた。或夜皆寝静まつた頃、小原は突然起き上がり、足を二本アラリと寝台の縁へ出したかと思つと、寝袋のボタンをはすした。「あら、水が漏りよる、こりやいかんば、どんだん漏りよる、おや此の水ちと塩辛いはなし」と、件の後家さんは生来恥か薄ぼんやりの方打の

なので、まだそれとは気がつかぬ、「こら、後民共、華族様の小便じゃ、もったいないと思え」と、なかなかとやっていた。酔がさめると顔が赤縮して、其の代償には如何なることも許せずと云う真実さがあるの、小便をかけられた当人でなくても、側者が代って喧嘩する気には、どうしてもなれぬのであった。

小原と、富哉青年がいたばかりに、金子と彼との間も余り気まずいこともなく、航海はつづけられていたのである。それに金子は合田と性格的にも又遠くからするも共通点が多々あったので、ブエノスアイレスから一日の大部分は合田の室と、常々京料理してゐる山縣大將の部屋で遊んでいたから、彼にも却て好都合であった。

荷物船のことだから一等船客と云うても、待遇は良くなかったであろう。山縣は食卓のことと或日船長に皮肉を浴びせかけた。

「船長、一体こりや日本船じゃろうか、日本船なら食事も本食に変えたらどうじゃ、僅かばかりの毛唐の客があるからとて、洋食はおかしい。外国船へ乗って御覽、日本人の船客があったからとて日本食は出さん。日本船は日本の延長じゃアッハハハ」と大將は豪快に阿々大笑した。

「山縣さん、それが困るのですよ。本社がどう定めてゐるのですからぬ」

「馬鹿を云いなさい。船長がそんな不見識でどうなさるか、日本食を出して置いて知らん顔をしていなさい。それを毛唐が文句を言うたら、何処でも下船せよと、少しは強硬に出れば国威は揚らんよ。私も昔は船は何隻も持っていたし、現に弟も外国航路もやっているのじゃが、親切にけしてやっても決して毛唐共に威張らせはせん、どうか船長、ウフフ」と山縣大將は大きな眼珠をくるくると上下左右に一回転してかう、声を呑んで豪傑笑いをするのであった。

この皮肉以後は山縣一家への食事は日本食と変わったが、船長も事務長も山縣と顔をお合すのが余程厭であつたらしく、山縣の姿を見ると船の反対側へくるとと煙を隠し、サツサと逃げ失せろのであった。山縣は確かに、曾て金子が云うた通り、現代はなれのした教條に相違なかつた。若し中世に生れたなら、差し当り海賊の親分か、新大陸の発見と云う所であらう。

布哇丸が南阿へ着くと云う二、三日前であつた。海が荒れて船の動搖激しく、客の多くは部屋へ閉じ籠つた。然し山縣は何と思つたか、上甲板へ出て當時十歳前後の男の子を盛んに引き廻わしてゐた。六尺中たかな山縣が訪襟服に烏打帽を被り、怪怪な聲面に底光りのする眼をギョロつかせてゐる容姿は、向う見ても波靜かな海には底しくはない。船の動搖に調子を取り換つて、山縣の子は梯から下甲板へ転び落つた。拍柄通り合せた船員が慌てて其の子を抱き起こそうとしたら、上甲板から

「人の子に手をつけるな」と、怒鳴る聲がした。見れば鷺の如き眼光をした山縣大將であつた。

「お子さん、怪状をなされてゐるようです」

「有難う。解つて居ります。故つて置いて下さい」

「こら、あがつて来んか」と山縣が一喝したら、子

供は血の滴る手をふり下り、それでも泣きもせず階段を登つて行つた。

後、山縣にその時の無慈悲な態度につき、どういふ訳かと質問した所、山縣は、

「私はもう六十を超えてゐるのじゃ、何ぼ生きても此の子の成人を見るのは難しかろう。それ故思い切り強くスバル夕流に育てて居るのじゃよ。時には可愛相じゃと思つてもないが、強く育てておかぬと私は安心して死ぬぬからかう」と山縣も矢張り人の子の親である。

山縣の今回の帰国は久しぶりに弟中村精七郎と会うことが第一の目的であつたが、外に計画としては、金の都合さえつけば、フラジルの沿岸航路と、リオ市に大学を開きたいということであつた。弟精七郎は船政金の一人に相違なかつたが、稀にみる高潔な人物であつた。博多の築港にせよ、青島攻略の際に於ける船賃問題にせよ、國家の必要と信ずる事には如何なる犠牲をも惜しまなんだじ、不当とする利益は錢厘も潔よしとはせなんだ。

以下次回へ

御礼

金 一封
御令室 故將技師御逝去を悼み申上げますと共に右記記念献金お寄せいただき厚く御礼申上げます。

バストス福音ホーリネス教婦人会
梶田実様

御知らせ

来る十一月一日、二日は伯國のお盆、(聖人の日、死者の日)には例年の通り墓地門前で売店を開きますから、御利用下さい。



瀬ノ上ジョゼ氏

排日新聞に対する反撃

瀬ノ上氏がヘア、ノイテ、新聞社に社長を訪ねた翌日の新聞には、ブラジル人、ジョゼ、セノウ工の言葉として、次のような記事が太々的に報導され一大センションを巻き起した。

「私は日本人の大集団地であるノロエステ線に三十五年生活をして居る日系ブラジル人であるので、日本人の問題について如何なる些細な事柄も知つて居る者である。フォリマ、カリオカ紙に報導されたように日本人農業者がブラジルに敵性態度をとり、ブラジルを窮乏に陥し入れようとするようなことは巨頭やつていない。彼らはブラジルに大きな希望をもち、喜んで生業に励んで居る者である。フォリマ、カリオカ紙の拳けられた米、棉、ハツカ、絹糸の生産減量について述べて見よう。

- (1) 米は早魃のため、サンパウロ州ばかりでなく、何処も減収だった。これは農務省の統計によつて眺み合わせてみれば一目瞭然である。
- (2) 棉の減収は、天候の加減、種子の不足、殺虫剤の不良と値蚊の暴落で搾作を止める者が続出した爲である。
- (3) 前の減収は、一キロ六〇クルセイロスの面が、ハクルセイロスに暴落し、養蚕業者は殆んど破産状態に陥つてしまつた。養蚕資金のない小、中農者は

これ以上継続出来なくなつてしまつた。
(4) ハツカ油（オリヨ、ダ、メンタ）もキロ三百クルセイロス入のものが五千クルセイロスに下落し、手間代にもならないために中止で、原因は経済以外の何ものでもない。
土と作物に執着心の強い日本人の農業者も、不可抗力な天災と、値段の惨落は政府の援助がない爲めに不結果に終つたのであつて、経済的に稀算のとれないものに嘯じりつゝ居られないのは止むを得なかつた事であつた。

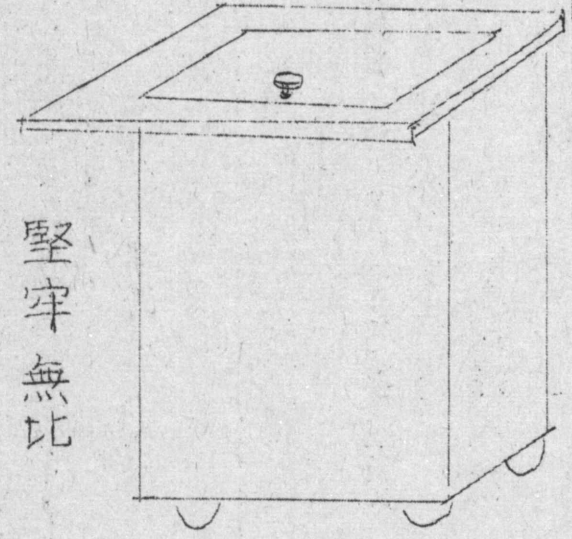
日本人は敵国人として禁定令と資産凍結のため、他に移転が許されなかつたので、このため、別産業に乗り出すことが出来なかつたので、産物が低下したのはやむを得なかつた。然し此の根源は生産者を圧迫して、自由に腕を揮わせなかつた独裁政治の過誤にもある。（中略）日本人は世界中で一番読書を好む人種なのであるが、一九三七年から外国語の敵国の新聞、雑誌が発行禁止せられ、一切の報導機関が止まつて了つた爲め、世界状況が判らなくなつてしまつた。

ラツオは一九四〇年から取りあげられ、ニュースを聞くことも禁じられた。此のため日本人は盲目にされてしまつた。こうした手も足も出ない状況下に置かれて居る間に、何時の世にも有り勝ちなデマ、ニュース製造者が現われて、ブラジル語の解らない善良な日本人大衆を惑わせてしまつたのである。臣道聯盟に就いてはブラジル政府にも半分の責任はある。それは政府が日本人大衆から新聞雑誌を奪つて、世界の情勢に盲目にし、ラツオを取り上げて

コロール、ビズンド、ブラジル会社特製

コロールマジキ印洗濯機

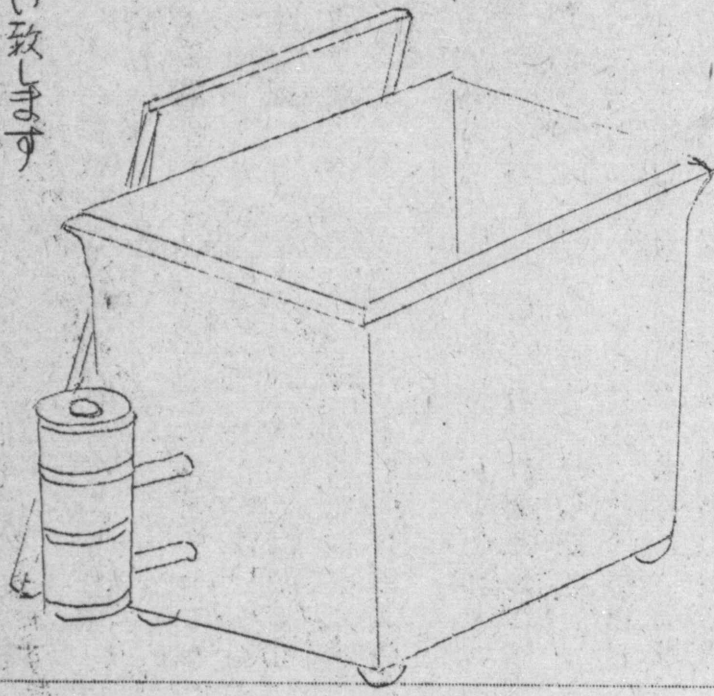
構造が簡単に出来て居るので故障する所が少い
タンキは「ファイバグラス」製で腐蝕の心配なし
タンキが小型ですからサボンが少量ですみ経済的
製造会社が「アサツバ」ですから「アサツバ」の場合も心配なし
正価、三回払、二千五クルセイロス（現在値）



堅牢無比

ゼニガメ製ガス風呂

腐蝕せず美しく清潔で湯のさめにくい経済風呂
半永久的に使用出来る高級風呂です。（ファイバグラス製）
価額、現在値二千二百クルセイロス。三回払は二千四百クルセイロス
お問合せ、連絡先は、バスターズ市ルア、タカノ、マモト
（フリオ、信太さんの上隣り）



菊川 まで

会社直売人 アラサツバ市

古賀克朝

外交員が参考の節はよろしく願ひ致します

世界の真の姿、日本の真の動きを聴かせなかつたことにある。何の擲り所も與えられなかつた。日本人が、テマ、ニユースを盲信して、一大混乱に陥つたことの一半の責任は政府の圧制がこつした結果を生むに至らしめたのである。(後略)

此の記事が、ア、ノイテ紙に出るや、忽ちに反響が現われて来た。特にリオから北伯の方の人間は日本人について何も知らない。只新聞の報導のみか彼等の常識の全部である。瀬ノ上ジョセ氏の大胆辛直な、しかも恐ろることなく政府の政策にまで論及して、日本人の立場を書いた。かなり骨髄を含んだ此の記事は、何も知らないブラジルの大衆の心に大きな動搖を與えた。

「我々は今迄日本人は野蠻で無知な、闘争を愛好する国民とのみ思つて来たところ、ジョゼ、セノウラの記事によつてその真相を知り、責任は我々自身にあることを知った。

「ジョゼ、セノウラのへ日本人の立場」の記事を讀んで、フオリヤ、カリオカ紙の記事が、一般的に生産減収を深く調査せずに、日本人の敵性行為と非難したことは、報導の大きな過失と言わねばならぬ。『今まで多くの新聞が、日本人を非難してきた記事によつて、私は日本人を輕侮して参りました。ところが、貴紙によつて日本人が土を愛し、作物を愛して、ブラジルに希望を以つて生活して居り、世界一読書の好きな国民であることを知り、輕侮は尊敬に変わりました。』

このような投書が、ア、ノイテ紙の編集長の机上に山と積まれた。

ア、ノイテ紙の投じた一石は、意外な波紋をえがき、大衆の日本人に対する感情は意外なほど緩和された。大衆の心をつかむ一番早道は、報導機關によつて、大衆の心に迫つて行く事だ。東洋的な沈黙や遠慮は自分とらへみ込みで、何時まで経つても相手に通せず、誤解され、馬鹿にされたまま、誰にもうれないで、不利を一人で背負つて、孤立した方が無駄情を折つて行く場合が多いのだ。

多くの友を得るには誇らねばならぬ自己の眞実を見せねばならぬ。運動や闘争を勝利に導くには多くの理解者を得得ることである。

早川領事のような事勿れ主義では、民族の前進、国家の偉大な政策は出来ない。

あ、此の最後の一票

瀬ノ上氏の一番心配したことは、東洋人(日本人)入国禁止法案である。此の難局打開である。この国家的な問題に対して、日本の出先官憲兵川領事は何等の対策を講じようとせず、対岸の火災視し、家の周りを刑事に護衛させて居る始末である。ノロ工ステの奥に、在伯同胞の安危を憂い、日本の前途を思つ瀬ノ上、鎌倉、水城の三人の同志は、頼るべき一寸の足場も持たないので、非常に仕事はやりにくかつたが、幸い、ア、ノイテ紙の放つた巨弾が効を奏したので、早速第二陣の策戦に取りかかつた。ア、ノイテ社長を再び訪問した瀬ノ上氏は、「社長、フオリヤ、カリオカを讀んだ議員は、恐らく全部排日議員になるでしょう。幸い貴紙の好意によつて日本人に対する曲解を是正し、悪感情を緩和

することが出来ました。更に、もう一步進めて議員一人々々に此の眞を知らしめ、日本人に対する公正な態度を以つて、移民入国の審議をして頂き度いのであります。それで、ア、ノイテ紙を上院議員と、下院議員全部に貴社の名前で一人残らず配布して頂きたいのであります。日本人コロニア全体の名前でお願い申し上げます。日本人コロニア全体の名前でお願い申し上げます。三人の顔は石のように硬直し、眼は火のように赤く血走つていた。

村長は凜然たる声で、「よろしい、万幸承知しました。貴方がたの行動はブラジルの光輝ある憲法擁護の精神と見ます。ブラジル人は人種偏見を持ちません。善良にして勤勉、真面目なる日本人は、ブラジルの国家を偉大にする立派な生産者です。ブラジルにとつて大切なこの移民のためには、ア、ノイテ紙は最善を尽くすことを誓いましょう。早速、全議員にア、ノイテ紙を配布しますから御安心になつて下さい。三人は立ち上つて、

「社長、有難うございます。と肺腑から湧る太い声で礼を言つて辞去した。議会には愈々東洋移民(日本移民)入国禁止の一項を憲法に挿入するか、しないかを決する重大なる運命の票決が行われた。東洋移民入国禁止法案提出者は、下院議員ジョゼ、アマクスト氏である。開票の結果は、

入国禁止賛成 九十九票
反対投票 九十九票
賛否同数である。採決が決まらぬ時には、議長

開業お知らせ

建築材料専門店

元、橋本製糸工場前にて建築材料専門店を開業いたしました。お引立下さい。当店では、木材以外の建築材料はすべて取扱つて居ります。御注文の品は迅速にお届け致します。

石灰・セメント・建築用の金物(水道、電気等)一切
レンタ・瓦・色々・下水用の土管・砂・砂利・タイル
鉄線・鉄窓枠・テレビのア
ンテナ。
製造部では、炊事場の流し台・洗濯台流し・水溝(タ
ンキ)等御注文に応じて製
作致します。安価提供中ノ
ル・ヴアルカヌ四八〇番地
イアクリよりバスターへの入口

COMAF MATERIAIS PARA CONSTRUÇÃO

ANTHERO FERNANDES E FILHOS LTDA.
Rua Pres. Vargas - 840 BASTOS E.S.P.
CAL CIMENTO FERRO PARA CONSTRUÇÃO, TINTAS, TELHAS
ETERNIT, MANILHAS, TUBOS PARA ESGOTO, VITROS, PORTAS -
AREIAS, PEDRAS, FABRICAÇÃO DE PIAS, TANQUES MATERIAIS
GERAIS ENTREGA A DOMICILIO

アチゴ・フェルナンデス
ファイリョス商会

の投票によって決することになつてゐる。此の時の議長は、メロ、ピアンナ氏であつた。満堂は森として水を打つたように静かである。メロ、ピアンナ氏は議長席から立ち上つて、静かに一票を投じた。果して雨であるか、晴であるか？、敵も味方もせき一つしなないで見守つてゐる。やがて書記官が「東洋移民入国禁止法案反対！」と読み上げた。今まで鳴りを澄めていた議員は萬雷の拍手をもつて此の票決に祝福を送つた。

「東洋移民入国禁止法案反対！」と読み上げた。今まで鳴りを澄めていた議員は萬雷の拍手をもつて此の票決に祝福を送つた。メロ、ピアンナ氏が重大なる一票を投ぜられ、議長の結果、東洋移民入国禁止法案が否決されました。人種偏見を持たないブラジルの憲法に汚点は印せられず、秩序と進歩のバンデイラのマルカは光輝燦として世界に輝やくことになりました。

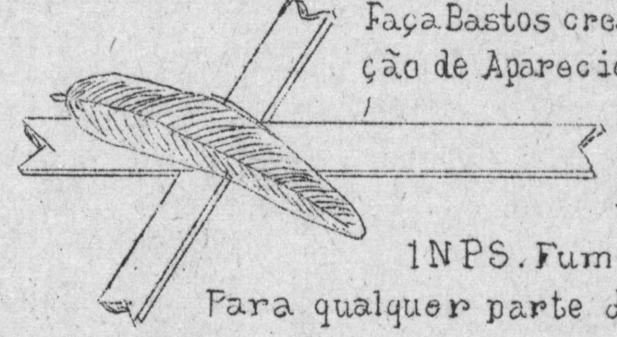
「わアツ、勝つた勝つた、日本人がブラジルに来られるぞ！、日本移民万歳！、ブラジル万歳！」。メロ、ピアンナ氏は熱病のように嘔き乍ら、ガバツとラジオの上に突伏して、声を挙げて男泣きに泣いた。日本を思い、日本人を思う男の涙だ。

嗚呼、議事に此の一点を投せしめる心機を作つた者こそ、ア、ノイテ紙上で、日本人の為に正論を吐き、全議員に同紙を一枚ずつ配布して、背後より策謀を樹てたメロ、ピアンナ氏を首領とし、これにつづく録倉義雄、水城磯次の三氏の俾業であつたことを多くの日本人は知らぬ。ブラジルに於ける日本人の歴史的巨歩を遺した者として、永久にその偉勲を讃えたい。

「ブラジル有数の外人耕主と闘争」
 源ノ上氏は、珈琲、米の精選工場をグララベス市、カラサイ市、ミランドポリス市に所有し、懐腕を揮つていた人で、グララベス市では内外人間にその経済力に於いて、敵見に於いて第一人者であつた。戦争勃発と同時に投獄され、サンパウロに護送された。その留守に使用人である土野吉の支配人が、戦争中のドサクサに紛れて、米、豆をカンボグラントの師団に売り込んで私腹を肥やして了つた。此の経済的痛手のために、遂にカラサイの七百アルケールの土地を失ない、崩壊しかけて来た余勢は、遂に抑えることが出来ず、奥ノ口で豪勢な羽振りをして来た千石長者も、戦争の鉄槌で地上の財はズタズタに打砕かれ、着のみ着のままの貧窮流浪の姿に落ちぶれ、グララベスを出る時には、市の日本有志から贈られた記念の鳩時計一個が全財産であつた。人間、一切を失つ時がその人の面目を遺憾なく発揮する時である。

その頃、バ延長線のノーバ、マリリアに二百アルケールの土地を買つた丸山氏が、三週間ばかり不在にして来た丸山氏の家を焼く。自分では家を建てて多くの乾分を引替けて来た。境界線も何もなし、暗黒未踏の広漠たるブラジルの奥地ではよくある手だ。力を征服する、最後は鉄砲の射る合いをして勝つた方が独占す

Organização Social de Luto A Regional



Faça Bastos crescer prestigiando seu comercio Sobre direção de Aparecido feliciano Ribeiro Prestação de serviço Artigos funerarios. Flores. coroas. velas Hissai, Hossenko, Cruz e Artigos para um banda em Geral. Atendimento pelo 1NPS. Fum Rural atende-se dia e noite, traslado Para qualquer parte do pais.

Residencia no Jocal Rua Adhemar de Barros n: 295, Fone 361, Bastos

葬具店 フネラリア サンペードロ

上記の場所と葬具店を開業致しました。御利用下さい。当社では花、花輪、口ソク、線香、十字架、位牌など仏式に必要な葬具も取り揃えてあります。高級棺等月賦の御相談にも応じます。昼夜受付けて居ります。故何時でも電話で御用命下されば迅速にお届け致します。

バストス市 ルア アデマル デ バーロス 295, 電話 361 番

P/VEREADOR
 SHIGERU SHIDA
 Nº 2421
 P/PREFEITO
 TAKEO KIMURA
 VICE: PAULO KATO
 ARENA 2

Dedicação e Dinamismo

る。結局強い奴がのさばって行くのだ。

丸山氏の土地に不法侵略して来た男はシヨアキン、アンドレと言う前科数犯の無頼漢で、全身弾傷、剣傷の痕で醜くゆがんでゐる。凄惨な男で、いつも手下の二、三十人ゴロゴロ遊ばして、まさかの時の用意に備えてゐる。稀代の親分である。丸山氏の手ではどうにも方法がつかないので、胆力があり、智恵があり、奇策縦横の源ノ上シヨベ氏に頼み込んで来た。二百コントス払うから自分の土地から出て行つてくれと云うのだ。自分の土地を侵略された上に、更に二百コントス出すというのだから、日本人でなければ出来ぬ温情交渉だ。その源ノ上氏へシヨアキン、アンドレは首を大きく横に振つた。

以下次号へ

叙勲



バストスでも日本から勲章を戴いた人は故畑仙次郎氏、信太兵治氏、石橋長児氏、谷口章氏などであるが、谷口氏を除いて他の人は皆故人となった。これらの人々は何れもバストス、否曰系コロニア発展の功労者として多くのの人々から認められ、推薦せられて隆勲になったものであろう。

一昨年末、織田系音さんが三十余年にわたる週報経営を引退で私が当分誰か系音氏に代る経営者のあらわれる迄中継を引受け、すでに二年近くなるが、その間に聖市・リオ・パラナ、バストスから当社当に、「週報社から織田系音氏へ叙勲の推薦してはどうか。系音氏こそバストス文化の最功労者である」とは万人の認める処である。君も一カ年週報を経営して、いかにその仕事に困難な素であろかを体験されたであろう。氏の功績を君から市井の人々に訴え、系音氏の存命中にその功に酬いること文化バストスの任務であらう」という投書である。

思つに系音氏が週報を再興されたのは終戦の暗澹たる時代で、系音氏も漸く齢五十歳に達したばかりの働き盛りであったが、当時の自治会、現在の文藝会長石橋長児氏をはじめ、自治会の役員、産業組合、ブラ拓などで週報の必要を感じ、人選に当たったが、週報は儲けのない仕事であり、智識人で筆のたつ人といえはとうごらにはなかった。

故齋出翁二氏の提案で織田系音氏に白羽の矢を向けた。齋出氏は、「織田なら、又筆はうまいし、夫婦二人の生活だから生活費もあまりかからないし、儲けのことは言わず、バストスの為にと言うて頼んだら引受けて呉れるらうと思ふ」と、織田氏を口説き落してバストス週報を復興させたこと記憶している。織田氏は、以来三十余年、ただ一日と休む日となく、夜は真夜に列るまで働き、八十余歳一までコロニア指導に身命を賭けて来られた。その間無料の日語塾を聞いて多くの児童の教育に奉仕された。

前日前、ピラシカバの西村さんから、憲社で駄目なら、バストス文協へ織田さん叙勲の推薦を頼んではどうか、と注告状を頂いた。織田さんは今脚が不自由となり、車椅子の生活をされている。賜顧

鑑識手帳切替えを

手続きは三十一日まで

「旧モテロ」九をまた新しいものに切り換えていない人は、十月三十一日までにより換え手続きをすべくようにして下さい。来月末までに手続を済ませない場合は、新法令に基づいて罰金が課せられることになったので、期限を過ぎた場合には、一日につき、いくらかという罰金を取られるので、切換手続きに早くおいてください。

フリンデンテ、ウアルガス街、一八九番地、郵函一〇三番

石川法律会計事務所

電話一〇五番及一〇八番

XAVANTES-COMERCIO e REPRESENTAÇÕES de ESQUADRIAS de AÇO LTDA
 Rua Adhemar de Barros nº em cima de Foto Miyazaki BASTOS S.P.
 Portas Comerciais, Portões, Grades, Venezianas, Serviços de manutenção e Conceptos em Geral, Aceitam-se qualquer pedidos Ramo

開店お知らせ

建築用金物専門

ポルタ(商店用巻上鉄扉)
 鉄製のガラス窓枠・ポルタ、セルカ用グリス・ポルトン・ベネシアナ(鋼鉄製のヨロイ窓) テレビのアンテナ 各種、電線引込み用の鉄塔、電気メータ計器の鉄箱、ヒサン居根の腕木、鉄製の右の取付並びに修理一切お引受け致します

迅速・丁寧
 親切 安価

伊丹商会

アマルデバウス街、宮崎写真館の上

RAÇÃO DUTRA



これがラツソン、ツットニの大きな特徴です!!
 高度の経済効率。嚴重なる品質管理・安定度の高い配合皆さんの鶏の健康を守り、より多き利潤を産み出す飼料としてラツソン、ツットニ株式会社ではあらゆる技術を駆使して居ります。

ラツソン、ツットニ

パウリスタ地方代理店

前山商店飼料部

養鶏飼料販売部員

佐藤 豊
 木口 常治
 藤武 良郎

石の販賣員が参上致しました節は何分にもよろしく御願ひ申し上げます。

Deposito de Madeiras Paraná Kaname Tamaki e Cia Ltda.

Madeiras bruta e aparelhadas, portas, vitôs, lajotões colonial for-
micas, telhas Brasil e francesa, tintas, cimentos, cal, pedras, areias, -
fechaduras, aglomerados, presos, dobradiças, compensados, duratex
forro, tapos, venezianas de madeiras e metalicas.

Rua Tapajos-140- Fone 2229 TUPÃ E.S.P

建築材料専門商会

建築用製材物. 入口枠. 窓枠. ホルタ. ガラス窓. 鉄窓. ヨロイ木製及金属製. 床板. 天井板

タコ. タイル. フォルミカ. 瓦. プラシコ. フランセーザ. セメント. 石灰. 砂. 砂利. 石板. タンタ.
鉄橋. 錠. 釘. その他建築に必要なもの一切 御用命下さい.

ツツパン市田巻商会

ルア タパジョス 140 電話 2229番

NOSSA RELOJOARIA

Takami Shibata Rua Ad. de Burros 213 Fone: 154

柴田時計店

電話 一五四番

レロジョアリア タカミ

ルア・マテル デ パーロス ニー 三番地

ります

皆様の御来店をお待ちして居

常に目新しい物を付入れて

最高級陶磁器・御進物用品・記念品・等

新型扇風機・クリスタル高級磁器・音響各種

メガネ・銀器飾身具・室内技飾品・花声機各種

電気ひげそり機・ユビワ・宝石貴金属・各種

写真機・シネ・ミリ・幻燈機・カメラ各種あり

最新式小型電気マシンの機・蓄音機・ラジオ各種

写直機・シネ・ミリ・幻燈機・カメラ各種あり

電気ひげそり機・ユビワ・宝石貴金属・各種

メガネ・銀器飾身具・室内技飾品・花声機各種

新型扇風機・クリスタル高級磁器・音響各種

電気ひげそり機・ユビワ・宝石貴金属・各種

写真機・シネ・ミリ・幻燈機・カメラ各種あり

高級腕巻ボルトン用壁掛時計

カニフリーテレビ

グラブドールステレオ

ボルトン小型電子計算機

Meiro de Cine Burtos

十月十七日(日) 九時半	十月十八日(月) 八時	十月十九日(火) 八時	十月二十日(水) 八時	十月二十一日(木) 八時	十月二十二日(金) 八時	十月二十三日(土) 九時半	十月二十四日(日) 九時半	十月二十五日(月) 八時	十月二十六日(火) 八時	十月二十七日(水) 八時	十月二十八日(木) 八時	十月二十九日(金) 八時	十月三十日(土) 九時半	十月三十一日(日) 九時半
東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色	東宝 総天 然色
女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号	女囚七〇号
男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ	男はつらいよ
おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道	おれの行道
日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝	日本橋花伝
真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける	真夏の太陽に風穴あけて駆ける
片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子	片桐夕子
西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹	西条秀樹
田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代	田中絹代
加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛	加藤 剛
真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子	真木洋子
渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也	渡哲也
根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美	根岸則美
夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲	夏八木 勲
渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄	渡辺文雄